

おはようございます。2学期も早1週間が過ぎました。皆さんも感じていることと思いますが、朝夕はかなり涼しくなってきました。今日は2年生はトライやるです。1学年いないとやはり寂しい感がします。

さて、夏休み終わり1週間経ちましたが、夏休みは学校がないので皆さんに夏休みにあった出来事についてお話出来ないのですが今年の夏休みは、3つのある出来事により命の大切さを再認識させられたので、そのお話をしたいと思います。1つは、始業式にもお知らせしましたが中1男女のこの事件です。未だ、詳しいことは解りませんが、車に乗せられ監禁された後殺害されたようです。中1の皆さん、同級生です。感じるものがあるでしょうか？先週、本校でも下校時に不審者から声かけ事例があった様ですが、気をつけて欲しいと思います。2つ目は日航ジャンボ機墜落30年です。8/12ですからお盆の真っ最中、しかも夕方ラッシュ時ですね。乗客は満員で東京から大阪への日航ジャンボ機が群馬県の山中に墜落したのです。奇跡的に4名の方が生還しましたが、520名の方が亡くなりました。離陸して12分ほどして尾翼がなくなりその後30分間ダッチロールといってフラフラと飛んでいたのです。その恐ろしさ想像してみてください…今年はその事故から30年だったので慰霊登山も例年より沢山だったようです。でも、遺族にとっては30年経ったからと言って癒されるものではないでしょうね。墜落現場の様相は、想像を絶するものだと思います。忘れてはならない事故の一つです。

もう一つは、戦争です。今年先の大戦後70年です。1学期にも天皇、皇后両陛下が太平洋戦争で激戦地となったパラオ共和国を訪ねたと言うニュースがありました。最大の激戦地となったペリリュー島のことに触れて「日本軍は約1万人、米軍は約1700人の戦死者を出しています。太平洋に浮かぶ美しい島々で、このような悲しい歴史があったことを、私どもは決して忘れてはならないと思います」とおっしゃっています。パラオ共和国は太平洋のこの辺です。

陛下は80歳を超え、心臓病と闘ったお体での激務である。80歳を超えての飛行機の旅は大変だったと思いますが、陛下は今年の新年のご感想でも、「満州事変に始まるこの戦争の歴史を十分に学び、今後の日本のあり方を考えていくことが、今、極めて大切なことだと思っています」と記している。戦争の風化などに危機感を抱いておられるのかもしれませんが。

又、陛下は皇太子時代に日本人として忘れてはならない日が4日ある。とおっしゃっています。

6月23日 8月6日 8月9日 8月15日 皆さん、解りますか？1年生で解る人は歴史好きといえますね。3年生は、社会の時間に習っているから半分以上の人は解るでしょ…

これらの日は確かに日本人としては忘れてはならない戦争の悲惨さを体験した日です。しかし、戦争の悲惨さを味わったのは日本だけではありません。日本は戦争によって朝鮮半島、中国、アジアの国々と人々に被害を与えてしまったのです。沖縄戦の悲劇、原爆の悲惨さ これらは決して忘れてはいけませんが、同時に多くの国々と人々を傷つけてしまった過去の日本、これも忘れてはいけません。

8月15日は日本では終戦記念日ですが、韓国では光復節（こうふくせつ）：日本からの独立を祝う日です。戦争は、被害と加害の両面があるということです。戦争は命を大事にしない最たるものです。しかし現実には、日本は関与していませんが、先の大戦後色々な戦争はありましたし現在も紛争が続いている場所もあります。今後も戦争しないためには皆さんも中学生ですから世の中のことに関心を持って欲しいと思います。そして、自ら命を絶つと言う人もいますが、命より大切なものはないということを確認して今日のお話を終わりたいと思います。